（別添資料１）

事業所名	児童発達支援　放課後等デイサービス　すまいるぶるーむ	支援プログラム	作成日	令和7 年	3 月	8 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの可能性を引き出し安心と自信を育む支援を通じ、未来へ向けた笑顔があふれるように成長をサポートします。			
支援方針		子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行う 「できること」を増やし自信と自己肯定感を育む 遊びや活動を通じて楽しみながら成長を促す 集団活動を通じて社会性や協調性を伸ばす 家庭や園、学校と連携し持続可能な支援を提供する			
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	目的：日常生活のスキルを身につけ、身辺自立を高める 身だしなみ：洋服の着脱、ボタン・ファスナーの練習、靴や靴下の着脱・荷物の整理 食事の練習：お箸・スプーン・フォークの使い方・片付け トイレ：排泄のリズムを作る、手洗い習慣の定着 掃除・片付け：整理、雑巾がけ、ゴミの分別			
	運動・感覚	目的：基本的な運動能力や感覚統合を促し、身体の動かし方を学ぶ 粗大運動：トランポリン、バランスボール、サーキット、マット運動 微細運動：プットイン、紐通し、シール貼り、はさみ・のりを使った工作 感覚遊び：粘土、スライム、砂遊び、寒天遊び リズム運動：音楽に合わせた体操、リトミック、ダンス			
	認知・行動	目的：認知能力や問題解決力を伸ばし、学習の土台を作る 言葉：文字：ひらがな・カタカナ・漢字、音読、絵本の読み聞かせ、フラッシュカード 数や様々な概念形成：数字、大小、長短、重さ、空間、時間 記憶：絵合わせカード、しりとり、神経衰弱 空間認知：図形、パズル、ブロック遊び、積み木			
	言語 コミュニケーション	目的:コミュニケーションの基礎的能力の向上や他者とのやり取りの場を提供 言葉の理解：絵カード、フラッシュカード、指示理解、絵本や紙芝居の読み聞かせ、歌や手遊び、模倣 言葉の表出：ジェスチャーと言葉を組み合わせた表現練習（指さし＋単語）、視覚支援ツールの活用 コミュニケーションの向上：SST（順番、あいさつ、気持ちを伝える）、他者との関りややり取り、協力			
	人間関係 社会性	目的：友達や大人と関わる力を育み、円滑なコミュニケーションを学ぶ SST：基本的なあいさつ・順番を守る・ルールのある遊び 役割遊び：お買い物ごっこ、 集団活動：協力ゲーム、共同制作 感情表現：「嬉しい」「悲しい」など気持ちを言葉で伝える練習			
家族支援		家族が安心して相談できる環境を提供する 保護者との定期的な面談で子供の成長や課題について共有や家庭での関わり方のアドバイス、保護者交流会の開催、写真付きの連絡帳の提供	移行支援	移行先（保育園、幼稚園、学校）との情報共有 地域イベントへの参加	
地域支援・地域連携		相談支援事業所との発達支援における連携 学校や関係機関との連携	職員の質の向上	職員間のミーティングで情報共有の実施 事業所合同の管理者会議 虐待防止、身体拘束その他スキル向上の研修参加	
主な行事等		クリスマス会、初詣、節分、ハロウィン、プールなどの季節ごとのイベント 避難訓練（年2回）・保護者交流会（年2回）			